

**【表紙】**

**【提出書類】** 半期報告書

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 令和6年9月30日

**【中間会計期間】** 自 令和6年1月1日 至 令和6年6月30日

**【発行者の名称】** デンマーク地方金融公庫 (KommuneKredit)

**【代表者の役職氏名】** 最高経営責任者兼マネジング・ディレクター  
Jens Lundager

マネジング・ディレクター  
Henrik Andersen

**【事務連絡者氏名】** 弁護士 黒丸博善  
弁護士 海沼智也

**【住所】** 東京都港区六本木六丁目10番1号  
六本木ヒルズ森タワー23階  
TMI総合法律事務所

**【電話番号】** 東京(03) 6438-5511

**【縦覧に供する場所】** 該当なし

## 第1【募集(売出)債券の状況】

売出債券の名称	発行年月	券面総額	前事業年度末 の未償還額	当該半期中 の償還額	当該半期末 の未償還額
デンマーク地方金融公庫 2027年7月30日満期 トルコ・リラ建 ディスカウント債券	2012年7月	2,500万 トルコ・リラ	2,500万 トルコ・リラ	0	2,500万 トルコ・リラ

2024年上半期中において、上記債券の所有者の権利等に重要な悪影響を与える事実は発生しなかった。

## 第2【発行者の概況】

注(1) 「公庫」とは、デンマーク地方金融公庫を意味する。

- (2) 本書中、別段の記載がない限り、「デンマーク・クローネ」または「DKK」と表示される金額はデンマーク王国の通貨であるデンマーク・クローネを意味する。2024年9月24日現在、東京の主要銀行により公表されたデンマーク・クローネに対する日本円の為替相場の中値は1デンマーク・クローネにつき21.40円であった。
- (3) デンマーク地方金融公庫の事業年度およびデンマーク王国の会計年度は暦年である。
- (4) 本書中の表で、計数が四捨五入されている場合、合計は計数の総和と必ずしも一致しないことがある。

### 1【概況】

#### デンマーク地方金融公庫に対する監督

2024年7月1日に発効した2024年5月22日付法律第481号に従い、デンマーク金融監督庁は、金融セクターに関するデジタル・オペレーショナル・レジリエンス法（EU規則第2022/2554号）ならびにそれに基づき発せられた規則および規制への公庫の遵守を監督する。

銀行等の管理および統制に関するデンマークの2022年6月30日付行政命令第1103号が、2024年6月25日付行政命令第854号により改正され、一部の規定を除いて、2024年7月1日付で公庫に対して発効された。行政命令第1103号は、金融機関の管理と統制に関する規則を定め、取締役会（理事会）および経営委員会等の職務と責任についての枠組みを提供している。

#### 2024年上半期の業績

2024年上半期における公庫の貸付高（純額）は60億デンマーク・クローネ弱となった。予想されたとおり、近年における多額のプラスの価値調整がマイナスの価値調整により相殺され、その結果、当期損失が発生した。

#### 収益および自己資本

2024年上半期において純受取利息は総額3億3,600万デンマーク・クローネとなり、前年同期より1億4,500万デンマーク・クローネ増加した。

純受取利息の増加は主に、当期における金利水準の上昇により投資において利息収入が増加したことによるものであった。

当期における管理費用は前年同期の1億デンマーク・クローネに対して9,900万デンマーク・クローネとなった。この減少は、専ら付加価値税（VAT）控除率の変更によるもので、公庫はより高い率でのVAT控除を行うことができた。

価値調整前および税引前の当期利益は2億3,000万デンマーク・クローネとなり、前年同期と比べて1億4,300万デンマーク・クローネ増加した。

近年において、公庫は多額のプラスの価値調整を計上してきたが、今後の年度において同等のマイナスの価値調整により相殺されることが予想される。2024年上半期はこのとおりとなり、5億200万デンマーク・クローネのマイナスの金融商品の価値調整が発生した。これに対し、2023年上半期には1億5,300万デンマーク・クローネのプラスの価値調整が生じていた。

包括利益は、2023年上半期には1億8,700万デンマーク・クローネであったのに対し、2024年上半期には2億1,200万デンマーク・クローネの損失となった。当期包括利益は持分に組み入れられるが、持分は現在99億6,800万デンマーク・クローネである。

理事会は、資産に対する持分の比率で少なくとも3%に相当する適切な資本が利益により確保されることを目標として定めている。資産合計に対する持分比率は4.0%で、2024年についての予測値である4.2%をわずかに下回ったが、依然として理事会の目標値に達している。

リスク・エクスポージャー総額（REA）は、2024年6月30日現在において179億デンマーク・クローネとなり、2023年末現在より23億デンマーク・クローネ増加した。この増加は、主に投資ポートフォリオの増加による信用リスクの高まりに起因した。この結果、信用機関のソルベンシー規則に基づいて算出された自己資本比率（リスク・エクスポージャー総額に対する自己資本の比率）は、2023年末現在の65%に対して、2024年6月30日現在には55%となった。

### 貸付およびリース

貸付高（純額）（リースを含み、分割返済額および償還金額を控除した新規の貸付高）は、2023年上半期には43億デンマーク・クローネであったのに対し、2024年上半期には56億デンマーク・クローネとなった。この貸付の伸びは主に、上水道・下水および地域向け熱供給プロジェクトに対する貸付によりもたらされた。

貸付およびリースの合計額は、2024年6月30日現在には1,907億デンマーク・クローネとなり、2023年末現在から36億デンマーク・クローネ増加した。この増加は主に、貸付高（純額）の増加によるが、金利の小幅な上昇に伴う貸付のマイナスの価値調整により一部相殺された。

### 資金調達および投資

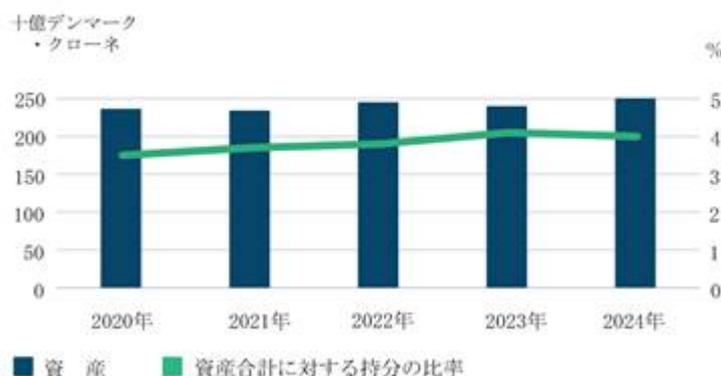
投資総額（すなわち、信用機関への債権および証券ポートフォリオ）は、2024年上半期末現在において467億デンマーク・クローネとなり、2023年末現在と比べて28億デンマーク・クローネ増加した。資金調達累計額（すなわち、信用機関への債務および発行債券）は、79億デンマーク・クローネ増加して2,261億デンマーク・クローネとなった。

資金調達残高の大部分は依然としてユーロ、米ドルおよびデンマーク・クローネ建てである。資産合計は80億デンマーク・クローネ増加して2,506億デンマーク・クローネとなった。

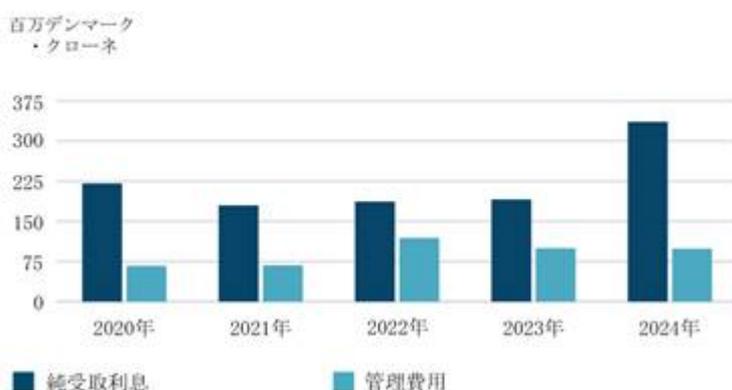
貸付高（純額）の内訳



### 2020年から2024年の上半期における 資産および持分比率



### 2020年から2024年の上半期における 純受取利息および管理費用



## ESG - 戦略的優先事項

公庫は、環境・社会・ガバナンス（ESG）への配慮をその業務に取り入れ、これを継続的に強化することに意欲的である。社会的責任への取組みは、公庫が125年前に初めて融資を行って以来公庫の事業において当然のこととして行われてきたが、上記の意欲的な取組みにより、これを維持するだけでなく拡充することも可能となる。

投資家がESG要素への考慮をますます強める中、ESGへの配慮を業務に取り入れることは公庫の2025年戦略にとって不可欠である。

公庫が行う融資や公庫が締結するリース契約は、気候耐性化および海岸保全、公共交通機関、公共施設のエネルギー効率化、または高齢者向け住宅の建設、地域のスポーツ拠点、学校ならびに地域向け熱供給などがあるが、そのほぼ全ては環境保護目的および/または社会的目的を帯びている。

金融事業者として、公庫がその中核業務をなす貸付、リースおよび投資にESGの取組みの主眼を置くのは当然である。一方、責任ある業務運営、事業活動に伴う排出量の削減および100人超の従業員の良好な労働環境の確保の観点から、公庫は組織の内部的な改善にも尽力している。

## グリーン・ファイナンス

自治体は、グリーン・トランジションへの投資に強い関心を示している。こうした関心は公庫のグリーンローン・ポートフォリオにも反映され、その貸付総額は2024年6月30日現在で359億デンマーク・クローネとなり、公庫の貸付ポートフォリオの24%(注)を占めるに至っている。

公庫はこのように、貸付ポートフォリオに占めるグリーンローンの割合を2025年までに25%以上に高めるといった目標の達成に向けて順調に歩みを進めている。

2024年6月に、公庫は5億ユーロのグリーンボンドを発行した。これは、公庫が2017年に初めてグリーンボンドを発行して以来9回目のグリーンボンドの発行であった。現在、公庫のグリーンボンドの累計発行額は319億デンマーク・クローネに達している。

(注) 個別の要求に応じて調整される貸付（建設資金供与を除く。）の額面残高に対する承認グリーンローンの額面残高の比率として計算している。

#### ESGに関するデータ

2023年に公庫は、将来のESG報告の基盤を構築し、ESGの戦略と目標をさらに発展させるため、ESGデータ・プロジェクトを立ち上げた。ESG報告向けのESGデータに対する投資家の需要に応えることを公庫は全体的な目標としている。関連のESGデータの特定に関するプロジェクトの第一段階は、2024年上半期に完了した。プロジェクトは下半期も継続し、ESGデータの収集、保存および報告に係る支援システムの開発に集中して取り組む。

## 2【資本構成】

### デンマーク地方金融公庫の資本構成

	<u>2024年6月30日現在</u> (百万デンマーク・クローネ)
発行債券(注1および注2)	226,063
デリバティブの公正価値	13,432
<b>その他の負債、年金および税を除く負債合計</b>	<b>239,495</b>
その他の負債、年金および税合計	1,154
<b>負債合計</b>	<b>240,649</b>
<b>持分</b>	
2024年1月1日現在の持分	10,180
税引後当期利益	-212
<b>2024年6月30日現在の持分</b>	<b>9,968</b>
<b>資本合計</b>	<b>250,617</b>

注(1) 指数連動債に関して、残高は指数変動による調整を含む。

(2) 外国通貨による借入は、2024年6月30日の実勢為替レート、あるいは2024年中の借入に関しては実行日の為替レートにより、デンマーク・クローネに換算されている。

2024年6月30日以降、公庫の資本構成に重大な変化はなかった。

### 3【組織】

下記を除いて、2024年上半期中およびそれ以降において公庫の組織に重大な変更はなかった。

2024年1月1日以降、下記の変更があった。

#### 理事会

2024年3月13日より（辞任）：

ヘンレク・ヴィーゼステン（理事長） 地方自治体議会議員

2024年3月13日より（就任）：

マーティン・ダム（理事長） 市長

#### 経営陣チーム

2024年1月1日以降、経営陣チームの構成員に変更はなかった。

#### 4【経理の状況】

2024年1月1日から2024年6月30日までの期間の中間財務書類は、公庫の独立監査人であるデロイト公認会計士パートナーシップのHenrik WellejusおよびJens Ringbæk（国家の承認を受けた公認会計士）によりレビューされ、さらに省により任命された監査役であるPer Hansenによりレビューされている。

2024年および2023年6月30日現在または2024年および2023年6月30日に終了した6か月間の公庫の中間財務書類（レビュー済）は、以下のとおりである。

2024年1月1日から6月30日までの期間についての  
 包括利益計算書

(単位：百万デンマーク・クローネ)

	注記	2024年	2023年
		上半期	上半期
受取利息		3,158	2,418
支払利息		-2,822	-2,227
<b>純受取利息</b>		<b>336</b>	<b>191</b>
その他の営業利益		2	3
その他の営業費用		-9	-7
管理費用		-99	-100
<b>価値調整前当期利益</b>		<b>230</b>	<b>87</b>
金融商品の価値調整		-502	153
<b>税引前当期利益</b>		<b>-272</b>	<b>240</b>
当期利益課税額		60	-53
<b>当期利益</b>		<b>-212</b>	<b>187</b>
<b>その他の包括利益</b>			
保険数理上の損益		0	0
保険数理上の損益に対する税額		0	0
<b>当期包括利益</b>		<b>-212</b>	<b>187</b>
計上先は以下の通り：			
持分への組入		-212	187
<b>合 計</b>		<b>-212</b>	<b>187</b>

## 2024年6月30日現在の貸借対照表

### 資 産

(単位：百万デンマーク・クローネ)

	注記	2024年	2023年
		6月30日現在	12月31日現在
信用機関への債権	3	1,624	273
貸付	3	179,625	176,433
リース		11,123	10,706
証券ポートフォリオ	3	45,125	43,639
デリバティブ	3、4	12,913	11,428
その他の資産		109	133
当期税金資産		98	0
<b>資産合計</b>		<b>250,617</b>	<b>242,612</b>

### 負債および持分

(単位：百万デンマーク・クローネ)

	注記	2024年	2023年
		6月30日現在	12月31日現在
信用機関への債務		0	1
発行債券	3	226,063	218,173
デリバティブ	3、4	13,432	12,949
その他の負債		584	707
当期税金負債		0	32
繰延税金負債		570	570
<b>負債合計</b>		<b>240,649</b>	<b>232,432</b>
<b>持 分</b>		<b>9,968</b>	<b>10,180</b>
<b>負債および持分合計</b>		<b>250,617</b>	<b>242,612</b>

## 2024年1月1日から6月30日までの期間についての持分変動計算書

(単位：百万デンマーク・クローネ)

注記	2024年 上半期	2023年 上半期
<b>持分</b>		
1月1日現在の持分	10,180	9,766
<b>持分への組入</b>		
当期利益	-212	187
<b>その他の包括利益</b>		
保険数理上の損益	0	0
その他の包括利益に対する税額	0	0
<b>その他の包括利益(税引後)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>持分への組入合計</b>	<b>-212</b>	<b>187</b>
<b>6月30日現在の持分</b>	<b>9,968</b>	<b>9,953</b>

当期包括利益は公庫の定款に従い持分(資本)に組入れられる。

持分は、2023年度末の101億8,000万デンマーク・クローネから2024年6月30日現在には99億6,800万デンマーク・クローネに減少した。2024年6月30日現在、資産合計に対する持分の割合は4.0%で、2023年度末現在より低下した。持分は普通株式等Tier1(CET1)資本からなる。

公庫に適用される法的枠組みの下では、持分は負債合計の少なくとも1%(すなわち24億600万デンマーク・クローネ)に等しくなければならない。理事会の目標は、資産に対する持分の割合を公庫の活動を支えるために適切と考えられる3%に少なくともすることである。

2024年1月1日および2024年6月30日における持分には、200万デンマーク・クローネの再評価準備金が含まれている。

2024年1月1日から6月30日までの期間についての  
 キャッシュフロー計算書

(単位：百万デンマーク・クローネ)

	注記	2024年 上半期	2023年 上半期
税引前当期利益		-272	240
減価償却費、償却費および減損費用		0	1
支払法人税		-70	-106
<b>合計</b>		<b>-342</b>	<b>134</b>
純受取利息		-336	-191
受取金融収益		3,158	2,418
支払金融費用		-2,822	-2,227
貸付の変動		-3,609	-6,096
証券ポートフォリオの変動		-1,486	312
発行債券の変動		7,892	3,743
デリバティブ金融負債の変動		483	-647
デリバティブ金融資産の変動		-1,485	2,532
その他の資産の変動		22	19
その他の負債の変動		-123	-38
<b>営業活動からのキャッシュフロー</b>		<b>1,352</b>	<b>-41</b>
その他の資産の売却		-	-
その他の資産の購入		-	-3
<b>投資活動からのキャッシュフロー</b>		<b>-</b>	<b>-3</b>
<b>財務活動からのキャッシュフロー</b>		<b>-</b>	<b>-</b>
<b>現金・現金同等物残高の変動</b>		<b>1,352</b>	<b>-44</b>
1月1日現在の現金・現金同等物残高		272	376
<b>6月30日現在の現金・現金同等物残高</b>		<b>1,624</b>	<b>332</b>
詳細は以下のとおり：			
信用機関への預け金		1,624	335
信用機関への短期債務		-	-3
<b>6月30日現在の現金・現金同等物残高</b>		<b>1,624</b>	<b>332</b>

## 注 記

### 注記1 会計方針

#### 一 般

本中間報告書の対象期間は、2024年1月1日から同年6月30日までである。

中間報告書は、欧州連合（EU）が採用している国際会計基準（IAS）第34号「中間財務報告」および追加的な中間報告開示要件に従い表示されている。

別途記載されていない限り、中間報告書の金額は全て百万デンマーク・クローネ単位で記載されている。記載されている合計額は、四捨五入前の実際の金額に基づき計算されたものである。金額は百万デンマーク・クローネ単位に四捨五入されているため、個別の金額の合算額と合計表示額とで多少の差額が生じる場合がある。

会計方針は、2023年度の年次報告書で適用されている方針と一致している。会計方針の全容は年次報告書を参照のこと。

#### 会計方針の変更点

2024年事業年度以降に発効し2024年度の財務報告に影響を与えると考えられる新規のまたは改正された国際財務報告基準（IFRS）および解釈指針はない。

#### 重要な会計上の見積りおよび判断

中間財務書類の作成において、経営陣は多くの会計上の見積りおよび判断を行う。この見積りおよび判断は、経営陣が合理的かつ現実的であると判断した仮定に基づき会計方針に従ってなされるが、これらは本質的に不確定で予測不能である。会計上の見積りおよび判断は、過去の実績および将来の状況の評価が確実に反映されるよう、継続的なプロセスによりテストおよび評価される。

公正価値の算出が市場で直接観測できないインプットに基づく場合、および反対の影響が示されない場合、会計上の見積りおよび判断は財務書類に非常に重要な影響を有するとみなされる。

特に、債券サーキットを構成しない発行債券の評価に関する見積りおよび判断は、財務書類に影響を与える可能性がある。これらの債券には活発な市場が存在せず、結果としてその評価には重要な会計上の見積りが用いられる。

一部のデリバティブの評価に用いる見積りおよび判断もまた、市場で直接観測可能な価格が存在しないことから、財務書類に影響を与える可能性がある。一般に認められているキャッシュフローモデルの観測可能なインプットで代用されている。

債券サーキットを構成しないローンの評価において、観測可能な市場が存在せず、それゆえ公庫は独自のさしあたりの貸付価格を市場価格として適用している。

その他の全ての金融商品について、その評価に重要な見積りは含まれていない。これらの商品には、活発な市場における相場価格が存在するか、または適用される見積りに重要な会計上の影響がないためである。

2023年度の年次報告書の情報と比較して会計上の見積りに変更はない。金融商品の公正価値に関する会計判断および見積りの決定のために適用される方法および原則の全容は、2023年度の年次報告書に記載されている。

### 注記2 貸借対照表日後の事象

貸借対照表日後に生じた重要な事象はない。

### 注記3 金融商品の公正価値の詳細

IFRS第13号「公正価値測定」に従い、公正価値で測定される金融商品は、その公正価値が決定される方法および基準とするデータによって、公正価値についてのレベル1から3の階層に分類されなければならない。公正価値は、金融資産または金融負債が必要な知識を持つ自発的な取引相手との間で取引される額である。

公正価値は、以下の階層に従い測定される。

#### レベル1：

同一の資産または負債についての活発な市場における相場価格。

#### レベル2：

類似の資産もしくは負債についての活発な市場における相場価格に基づくか、または観測可能なインプットにより実質的に基礎付けられるその他の評価手法に基づく、観測可能なインプット。

#### レベル3：

評価が観測可能なインプットによっては実質的に基礎付けられていない、観測不能なインプット。

レベル2およびレベル3の公正価値は、一般に認められているモデルに基づき評価される。公庫は、A)流動性、信用リスクおよび転換権について調整された類似の債券の上場市場での価格、ならびにB)全ての見積りキャッシュフローおよび固定キャッシュフローをゼロクーポン・イールド・カーブ、金利の期間構造およびオプション・モデルを用いて割り引く割引キャッシュフローモデルの双方を用いている。

A)公庫は、債券サーキットと称される発行債券および貸付の一部につき、流動性、信用リスクおよび転換権について調整された類似の債券の上場市場での価格を用いている。債券サーキットはモーゲージ信用残高の原則に基づいていることで特徴づけられ、公庫が発行した債券を構成する条件が債券発行により調達された資金による顧客への貸付に直接転嫁され、公庫が決定した貸付マージンが加えられる。

債券サーキットにおける証券はナスダック（コペンハーゲン）に上場されているが、証券はその取引頻度および取引量が不十分であるため非流動的である。したがって、上場市場での価格は使用できず、その代わりに、流動性、信用リスクおよび転換権について調整された類似の証券の上場市場での価格が用いられる。類似の証券とは、類似の特性を有するモーゲージ債または政府債である可能性がある。顧客への貸付に対する信用リスクは、発行債券に対応しているため、発行債券の価格は債券発行により調達された資金による貸付にも用いられている。よって、価格変動は損益に影響を与えない。

B)公庫は、デリバティブ、非流動的とみなされる発行債券の上記以外の部分、および債券サーキットを構成しない公正価値で評価される貸付につき、割引キャッシュフロー法を用いている。

レベル2の公正価値の算出には、スワップレート、為替ベースのスワップ・スプレッド、テナー・スプレッドおよび為替レート等の観測可能なインプットが含まれている。また、発行債券の評価は公庫の実際の資金調達費用についての見積りを含む。貸付の評価には、公庫の現在の貸付価格が含まれる。公庫は、見積もられた当座の資金調達費用に応じて実際の貸付価格を定期的に調整することにより、貸付マージンを相対的に一定に保つよう努めている。実際の資金調達費用の見積りに関する感応度は、当座の貸付価格の変動により一部相殺されることになる。これによると、価値調整全体による正味の影響は最大でプラス/マイナス2億5,000万デンマーク・クローネの範囲内と考えられる。

公庫のごく一部の発行債券およびデリバティブは、公正価値レベル3に分類されている。当該レベルは、仕組債および関連するヘッジ・デリバティブに用いられており、そのインプットは、公正価値レベル2に適用されるインプットに加えて、通貨、株式およびコモディティのボラティリティならびにそれらの相関といった観測不能なインプットから成る。発行済仕組債はデリバティブによりマイクロ・ヘッジされており、よって観測不能なインプットの変動は、発行における変動がデリバティブと逆に作用するため、利益に重要な影響を及ぼすことはない。

公庫は、金融商品を利用することにより市場リスクを軽減するリスク管理戦略を追求している。この結果、レベル2およびレベル3に基づく公正価値を算出するのに用いられる見積りおよび仮定の変更による包括利益計算書および持分への影響（正味ベースでみた総額による）は縮減されており、資金調達費用および貸付価格の変動を含むにとどまる。

2024年上半期におけるレベル間の組み替えはなかった。

(単位：百万デンマーク・クローネ)

金融商品の公正価値の詳細

2024年6月30日現在

資 産

	レベル1	レベル2	レベル3	合 計
信用機関への債権	1,624	0	0	1,624
貸付	0	179,625	0	179,625
証券ポートフォリオ	45,125	0	0	45,125
デリバティブ	0	12,660	253	12,913
<b>資産合計</b>	<b>46,749</b>	<b>192,285</b>	<b>253</b>	<b>239,287</b>

負 債

信用機関への債務	0	0	0	0
発行債券	0	222,791	3,272	226,063
デリバティブ	0	13,053	379	13,432
<b>負債合計</b>	<b>0</b>	<b>235,844</b>	<b>3,651</b>	<b>239,495</b>

2023年12月31日現在

資 産

信用機関への債権	273	0	0	273
貸付	0	176,433	0	176,433
証券ポートフォリオ	43,639	0	0	43,639
デリバティブ	0	11,167	261	11,428
<b>資産合計</b>	<b>43,912</b>	<b>187,600</b>	<b>261</b>	<b>231,773</b>

負 債

信用機関への債務	1	0	0	1
発行債券	0	214,824	3,349	218,173
デリバティブ	0	12,704	245	12,949
<b>負債合計</b>	<b>1</b>	<b>227,528</b>	<b>3,594</b>	<b>231,123</b>

(単位：百万デンマーク・クローネ)

レベル3の公正価値の詳細

	1月1日現在の残高	新規	処分	当期利益における認識額	6月30日現在
<b>2024年6月30日現在</b>					
<b>資産</b>					
信用機関への債権	0	0	0	0	0
貸付	0	0	0	0	0
証券ポートフォリオ	0	0	0	0	0
デリバティブ	261	0	0	-8	253
<b>資産合計</b>	<b>261</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-8</b>	<b>253</b>
<b>負債</b>					
信用機関への債務	0	0	0	0	0
発行債券	3,349	0	0	-77	3,272
デリバティブ	245	0	0	134	379
<b>負債合計</b>	<b>3,594</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>57</b>	<b>3,651</b>
	1月1日現在の残高	新規	処分	当期利益における認識額	12月31日現在
<b>2023年12月31日現在</b>					
<b>資産</b>					
信用機関への債権	0	0	0	0	0
貸付	0	0	0	0	0
証券ポートフォリオ	0	0	0	0	0
デリバティブ	256	0	-1	6	261
<b>資産合計</b>	<b>256</b>	<b>0</b>	<b>-1</b>	<b>6</b>	<b>261</b>
<b>負債</b>					
信用機関への債務	0	0	0	0	0
発行債券	5,054	0	-1,761	56	3,349
デリバティブ	309	0	-27	-37	245
<b>負債合計</b>	<b>5,363</b>	<b>0</b>	<b>-1,788</b>	<b>19</b>	<b>3,594</b>

#### 注記4 金融商品の公正価値の詳細

公庫は、マスター・ネットティング契約（ISDAマスター契約）にクロス取引の支払いのネットティングについての合意が含まれる場合に、外国為替取引およびデリバティブを差金ベースで決済している。差金決済の場合は必然的に貸借対照表においてデリバティブの会計上の価額には相殺を含めることになる。相殺総額は、2023年12月31日現在で79億1,700万デンマーク・クローネであったのに対し、2024年6月30日現在では81億200万デンマーク・クローネとなった。

ISDAマスター契約にクロス取引の支払いのネットティングが含まれない場合、会計上の価額は相殺を含まない。相殺されていないデリバティブのネットティング金額は、取引相手ごとに算出される資産および負債のうち少額である方を上限とする。かかる金額は資産および負債の双方に含まれる。

ISDAマスター契約には、デリバティブに関連する片務的または双務的担保契約が含まれる。これらの契約に基づく受入担保および差入担保は、高格付の債券のみからなる。担保価額は取引相手ごとに算出され、債券が担保として提供される金融商品の純額を上限とする。担保契約は、通常取引のためではなく専ら倒産の場合に備えて担保の相殺を認める。担保価値に対して相殺は適用されない。

公庫は、貸付、リースまたは発行債券に関して、ネットティング契約の締結および担保の差入れまたは受入れを行っていない。このためこれらの金融商品は以下の表に含まれていない。帳簿価額は貸借対照表から引用している。

(単位：百万デンマーク・クローネ)

貸借対照表において表示されたデリバティブ

	財政状態計算書上 相殺された金額			財政状態計算書上 相殺されていない金額		
	帳簿価額 総額	相殺額	帳簿価額	金融商品	担保	純額
<b>2024年6月30日現在</b>						
資産	21,015	-8,102	12,913	-2,813	-9,503	597
負債	21,534	-8,102	13,432	-2,813	-10,442	177
<b>純額</b>	<b>-519</b>	<b>0</b>	<b>-519</b>	<b>0</b>	<b>939</b>	<b>420</b>
<b>2023年12月31日現在</b>						
資産	19,345	-7,917	11,428	-2,672	-7,658	1,098
負債	20,866	-7,917	12,949	-2,672	-9,798	479
<b>純額</b>	<b>-1,521</b>	<b>0</b>	<b>-1,521</b>	<b>0</b>	<b>2,140</b>	<b>619</b>

## 注記5 主要な指標および財務比率

(単位：百万ユーロ / 百万デンマーク・クローネ)

	2024年 上半期	2024年 上半期	2023年 上半期	2022年 上半期	2021年 上半期	2020年 上半期	2023年
	ユーロ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ	デンマーク・ クローネ
<b>当期の主要な指標</b>							
純受取利息	45	336	191	187	180	221	467
管理費用	-13	-99	-100	-119	-68	-67	-193
価値調整前当期利益	31	230	87	65	109	152	264
金融商品の価値調整	-67	-502	153	535	190	35	276
当期利益課税額	8	60	-53	-132	-66	-41	-126
当期包括利益	-28	-212	187	468	233	145	414
貸付およびリース	25,578	190,748	181,070	179,513	191,156	190,698	187,139
証券ポートフォリオ	6,051	45,125	46,279	50,530	36,745	37,609	43,639
有形固定資産への投資	-	-	3	0	0	0	0
資産	33,606	250,620	240,280	245,327	234,368	236,685	242,612
発行債券	30,314	226,063	211,642	221,784	216,970	216,443	218,173
持分	1,337	9,968	9,953	9,243	8,630	8,324	10,180
<b>当期における活動</b>							
貸付およびリース (額面価額の純増加額)	753	5,616	4,296	3,367	3,782	3,914	5,874
貸付およびリース (額面価額の総増加額)	2,741	20,439	16,508	16,912	19,874	23,926	29,027
発行債券 (額面価額の総増加額)	3,834	28,594	24,801	33,319	35,229	26,855	41,543

(単位：百万ユーロ/百万デンマーク・クローネ)

	2024年 上半期	2024年 上半期	2023年 上半期	2022年 上半期	2021年 上半期	2020年 上半期	2023年
ユーロ	デンマーク・ クローネ						
<b>資本構成</b>							
リスク・エクスポージャー総額 (REA)	2,395	17,861	15,176	16,267	12,202	13,817	15,637
普通株式等Tier1 (CET1) 資本	1,337	9,968	9,953	9,243	8,630	8,324	10,180
自己資本	1,325	9,880	9,873	9,136	8,530	8,165	10,107
自己資本比率 (%)	55	55	65	56	70	59	65
資産合計に対する持分の比率 (%)	4.0	4.0	4.1	3.8	3.7	3.5	4.2
<b>財務比率 (要約)</b>							
貸付およびリースにおける損失	0	0	0	0	0	0	0
資産に対する管理費用の比率 (%)	0.04	0.04	0.04	0.05	0.03	0.03	0.08
資産に対する純受取利息の比率 (%)	0.13	0.13	0.08	0.08	0.08	0.09	0.08
正規従業員数	104	104	102	94	87	79	101

主要な指標および財務比率は、デンマークCFA (公認証券アナリスト) 協会 (CFA Society Denmark) により発行された「勧告および財務比率」に従い算出されている。

2024年6月30日現在の為替レート：100ユーロ = 745.7414デンマーク・クローネ。表示形式は前年から変更されていない。

\* リスク・エクスポージャー総額 (REA) および自己資本比率は、(かかる原則は公庫に適用されるものではないが) 信用機関に適用される原則に従い算出されている。

### 第3【外国為替相場の推移】

#### (1)【当該半期中における月別為替相場の推移】

該当事項なし

#### (2)【最近日の為替相場】

該当事項なし